



インドゾウ「のこぎり体験→ズーラシアへGO!」(3/9)

生態園 NEWS Letter

No180

2019/4

NPO 法人

茅ヶ崎公園自然生態園管理運営委員会事務局

Tel/Fax : 045 - 945 - 0816

E-mail seitaen@ybb.ne.jp

URL <https://www.seitaen.com/>



タチツボスミレ



ツボスミレ



マルバスミレ



アカネスミレ (4/15)



①トラフコメツキ (3/15)



②コマルハナバチ♀ (3/19)



③ピロウドツリアブ (3/26)



④ルリタテハ (3/13)

〇〇〇水辺のいきもの〇〇〇

アオダイショウ/ナミヘビ科

最大 2 m にもなるヘビ。木登りと泳ぎが得意で、ネズミだけでなく樹上や水辺の鳥の巣も襲う。身近に見られるが、おとなしく、手を出さなければ噛みつかない。



- ① 春にだけ見られる 10mm位の小さなコメツキムシです
- ② みは全身淡い黄色をしていますが、♀は全身黒色でお尻の先だけ濃いオレンジ色をしています。
- ③ 茶褐色の毛がたくさん生えた丸っこい可愛いアブで、春にのみ現れます。
- ④ 成虫越冬するので早春から現れます。人の気配で直ぐに飛び去りますが、しばらくすると戻ってきます。

昆虫：山村靖男

今月の花

アリアケスミレ (有明堇) スミレ科スミレ属

生態園は、市街地の公園としては植物は豊かですが、なぜかスミレの仲間はあまり多くありません。アリアケスミレは、細長い葉の間から伸びる柄に白っぽい花をつけるスミレで、生態園では田んぼの縁だけで見られます。開園した 2002 年の頃は見られず、2006 年に初めて確認されました。特別に珍しいスミレではありませんが、生態園周辺では緑道や空地でたまに見ることがあっても、乾燥など環境の変化に弱いようで、どれも数年でなくなってしまいます。

細長い葉を横に広げて、高さ 10-15cm ほどの花柄の先に、白っぽく見えるけど紫色の細かい筋がたくさん入った花を咲かせます。紫色の筋の多少や濃淡によって花色が変化して見え、この様子を刻々と変化する有明の空の色に例えて名づけられたと言われています。

紫色の筋がある花弁の奥を覗くと細かい毛がいっぱい生えていて、花の真ん中には黄色っぽい三角形のものが見えますが、これは雌しべの先端部で、この形や花の毛、細長い葉がアリアケスミレの仲間の特徴となっています。

菊池 光昭



4月にみられる花

アカネスミレ、アケビ、アリアケスミレ、カジイチゴ、カラスノエンドウ、ケキツネノボタン、サンショウ、シャガ、タネツケバナ、ニワトコ、ヘビイチゴ、ミツバアケビ、メギ、ヤブヘビイチゴ